

講習会のお知らせ

■ 救急法基礎講習：1日コース

心肺蘇生やAEDを用いた電気ショックなどが学べます

10/7(土)・11/11(土)・12/2(土)	日赤富山県支部	9:00~16:30
1/6(土)・3/20(水・祝)		
2/19(月)	県総合体育センター	9:00~16:30

■ 救急法救急員養成講習：2日間コース

急病の手当、けがの手当、搬送などが学べます

10/14(土)、21(土)・12/10(日)、 17(日)・3/23(土)~24(日)	日赤富山県支部	9:00~16:30
2/21(水)~22(木)	県総合体育センター	9:00~16:30

■ 健康生活支援員養成講習：2日間コース

健康増進と高齢者に起こりやすい事故の予防・手当、日常生活の自立に向けた介護の知識と技術などが学べます

12/3(日)、10(日)・2/3(土)~4(日)	日赤富山県支部	9:00~17:00
---------------------------	---------	------------

■ 幼児安全法支援員養成講習：2日間コース

子どもに起こりやすい事故の予防と手当、子どもの病気への対応などが学べます

10/22(日)、29(日)・3/2(土)~3(日)	日赤富山県支部	9:00~17:00
----------------------------	---------	------------

指導員派遣

- 電話で、開催希望日時・希望内容・受講者人数・会場をお知らせ下さい。
- 派遣は、受講者が10名以上の場合とさせていただきます。
- 指導員の手配や資材の数に限りがあるため、ご希望に添えない場合があります。



受講のお申し込みやお問い合わせ先
日本赤十字社富山県支部 事業推進課
TEL 076-451-7878
<https://www.jrc.or.jp/chapter/toyama/study/>
(ホームページから申し込みができます)

展示で学ぶ赤十字～歴史に思いをはせて～

富山県赤十字血液センター1階ロビーがリニューアルされました。パネル展示や関連書籍で献血に関する知識を学ぶことができます。

その一隅にお目見えしたのは、赤十字の歴代ユニフォーム。今やおなじみとなった赤い救護服はもちろん、平成17年に改められるまで着用されていたベージュの救護看護師の制服は大正時代から変わっておらず、戦中には従軍看護婦(師)として多くの傷病者の救援にあたっていました。

災害発生時には赤色のユニフォームを着た職員が、医療資機材を装備したジェラルミンケースを片手に駆け付けます。

お立ち寄りの際には、赤十字の歴史に思いをはせてみてはいかがでしょうか。

街頭献血のお知らせ ★お昼時間は受付をお休みします。
★日程は都合により変更することがあります。

10月	1日(日)	イオンモールとなみ アル・プラザ小杉	9:00~12:00 13:20~16:00 10:00~12:00 13:15~16:00
	8日(日)	ファボーレ	
	9日(月)	イオンモール高岡	
	14日(土)	イオンモール高岡	
	15日(日)	ファボーレ	10:00~12:00 13:15~16:30
	22日(日)	イオンモール高岡	
	28日(土)	イオンモール高岡	
	29日(日)	ファボーレ	

11月	4日(土)	イオンモール高岡	10:00~12:00 13:15~16:30
	5日(日)	PLANT-3滑川店	9:00~12:00 13:15~16:00
	11日(土)	イオンモール高岡	
	12日(日)	ファボーレ	10:00~12:00 13:15~16:30
	19日(日)	イオンモール高岡 ファボーレ	
	23日(木)	ハッピータウン氷見店	9:30~16:00
	25日(土)	イオンモール高岡	10:00~12:00 13:15~16:30
	26日(日)	ファボーレ	

12月	2日(土)	イオンモール高岡	10:00~12:00 13:15~16:30
	3日(日)	ファボーレ	
	9日(土)	イオンモール高岡	
	10日(日)	イオンモールとなみ	9:00~12:00 13:20~16:00
	16日(土)	イオンモール高岡	10:00~12:00 13:15~16:30
	17日(日)	ファボーレ	
	24日(日)	イオンモール高岡 アップルヒル	9:30~12:00 13:15~16:00
	28日(木)	イオンモール高岡	10:00~12:00 13:15~16:30
	29日(金)	ファボーレ	
	30日(土)	イオンモール高岡	

◆ 上記以外の献血会場

マリエ献血ルーム
富山市桜町1-1-61 マリエとやま6F TEL 076-445-4500
受付時間は、10:00~12:00 14:00~18:00

お問い合わせ先
富山県赤十字血液センター
TEL 076-451-5555
<https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/toyama/>



輸血を受けられた(ご家族)からのメッセージ募集

富山県赤十字血液センターでは、献血の大切さを広めるため、輸血を受けられた方やそのご家族からのメッセージを募集しています。

いただいたメッセージは、当血液センターホームページに掲載するほか、様々な献血の啓発活動に使用させていただきます。

体重測定をお願いについて

献血会場では、献血にご協力いただく際、体重の確認をさせていただき、ご申告または必要に応じて測定をお願いしておりました。

今般、献血にご協力いただく全ての方に、体重測定をお願いすることとしましたので、お知らせいたします。

移動採血車 令和5年9月25日(月)から

※固定施設(献血ルーム)は令和5年5月から実施しています。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字とやま

人間を救うのは、人間だ。

大雨災害に立ち向かう



炊き出しを行う奉仕団



県災害対策本部会議の様子

6月28日と7月14日、富山県内では記録的大雨により、各地で床上や床下浸水などの被害が相次ぎました。日本赤十字社富山県支部では被災者に対し、市町村を通じ至急災害救援物資を届けました。

立山町の避難所となった谷口公民館では、立山町赤十字奉仕団員が立山町や立山町社会福祉協議会の協力のもと炊き出しを行い、塩むすびと味噌汁、漬物を70人に配食しました。

この活動を通して、炊き出しの必要性を再確認するとともに、赤十字奉仕団員としての自負や責務、誇りを更に強く感じたようです。

7月14日には、富山県庁において県災害対策本部会議が行われ、支部職員がリエゾン*として出席し、各防災関係機関と大雨による被害や対応等の状況を共有しました。

また、県内に災害救助法が適用されたことを受け、日本赤十字社富山県支部では「富山県大雨災害義援金」の受付を開始。8月31日までに、富山県内外から4,174,227円が寄せられました。多くのご支援をありがとうございました。お預かりした義援金は、富山県義援金配分委員会を通じ、被災された方々に全額お渡しいたします。

※リエゾン…災害対策現地情報連絡員。被災自治体に派遣され、情報収集や支援ニーズの把握を行う。

子どものアレルギー疾患

現在、国民の3人に2人は何らかのアレルギー疾患の症状があるとされています。以下に、小児で代表的な疾患について解説します。

食物アレルギー

原因となる食物を摂るとじんま疹や顔が腫れるなどの症状が出て、ひどい時には呼吸困難やショックといったアナフィラキシー状態になって救急対応が必要となる場合があります。原因となる食物には、小さいお子さんでは鶏卵、牛乳、小麦、少し大きなお子さんでは甲殻類（エビやカニ）やナッツ類などがあります。対応としては、原因となる食物やそれを含む加工品を食べないで自然に治るのを待つ方法と、安全に摂取できる量を見つけて少しずつ食べられる量を増やしていく方法があります。少しの量でも強い症状が出るお子さんや3歳過ぎても未だ食べられないお子さんは、経口食物負荷試験を行なって安全に食べられる量を見つければ良いでしょう。

花粉症、アレルギー性鼻炎／結膜炎

近年、スギやイネ科（カモガヤ、オオアワガエリ）花粉で春先から夏に目や鼻の症状が強くなるお子さんが増えています。また、家の埃の中にあるチリダニによって1年を通して目や鼻の症状が続いているお子さんもいます。現在、スギ花粉とダニに対するアレルギーを減弱させる舌下免疫療法が5歳ぐらいから実施できるようになりました。内服や点鼻・点眼を続けていても症状が良くならない場合には有用な方法の一つです。

花粉-食物アレルギー症候群（口腔アレルギー症候群）

ハンノキやイネ科の花粉症になった人が、それぞれの花粉の成分を含む果物や野菜を食べると、口の中が痒くなったり喉がイガイガすることがあります。ほとんどは口や喉に限局した症状ですが、稀にアナフィラキシーを起こすこともあります。何をどのくらい食べても良いのかについて、お困りの方も少なくないと思います。

アトピー性皮膚炎

最近の研究では、食物アレルギーやダニアレルギーは炎症を起こした皮膚を通して始まると言われて、乳幼児期からのスキンケアはその後のアレルギー疾患の発症予防に重要です。一方、思春期の重症アトピーに対して内服や注射の新たな治療法が出てきています。

ぜん息

最近、小児期に呼吸機能（どのくらいいっぱい空気が吸えてしっかり吐けるか）が低下していると成人になってからも呼吸機能は低いままであることがわかってきました。ぜん息で時々ゼーゼーしたり咳が長く続くお子さんは、学童期以降に呼吸機能検査を受けて自分の状態を確認しておくことも大切です。

富山赤十字病院では、2023年4月より小児アレルギーセンターを開設し、上記のような疾患に対応した検査や治療を行なっています。



富山赤十字病院
小児アレルギーセンター長
足立 雄一



病児保育室 おひさま

0歳～未就学児のお子さんで、病気や病後回復期にあるため集団保育や家庭での保育ができない時に、一時的にお預かりする保育室です。お子さんの症状に合わせた保育看護をすることでより家庭に近い環境で、1日ゆったりと過ごして頂けます。

ご利用を希望される方は、下記へご連絡ください。

利用時間 月曜日～金曜日 8:00～17:30
(ただし、祝日、5/1、12/29～1/3は除く)

利用料 1回2,000円(昼食・おやつ代含む)
とやまっ子育て応援券の利用できます。

富山市ひとり親家庭病児保育利用料助成制度の利用も可能です。

お問合せ (080)8697-2773(直通) 電話受付時間 7:30～17:00



コロナ禍で休止している間、利用者の皆さまには大変ご迷惑をお掛けいたしました。

病児保育室おひさまは、**8月より再開いたしました。**

これからも、お子さまと心を通わせた保育看護に努めてまいります。

里親支援機関事務局よりお知らせ

里親家庭で育った当事者のお話を
聞いてみませんか？

10月の里親月間に、里親講演会を開催します。今年、里親家庭で育った当事者の方を講師にお招きします。

血縁関係のある家族との離別経験と、里親家庭への委託が決まった時の喜びや、現在の里親制度に対する思い、里子、里親への思いについてお話しできます。ぜひ、聞いてみたい方は、下記へご連絡ください。

富山県里親支援機関事務局 076-432-8137

『富山県里親講演会』
広めよう里親 in とやま 2023
講師：坂本 歩氏

◇日時：令和5年10月14日
午後13時30分～

◇場所：富山県民共生センター
サンフォルテ ホール

◇定員：100名(託児室あり)
※事前に申し込みが必要です。
ご参加お待ちしております。

血液センター「親子見学会」を開催しました！

新型コロナウイルス感染症により中止となっていましたが、3年ぶりに開催することができました。

見学会は、県内の小学5～6年生の親子を対象に、献血の必要性、理解を深めてもらうことを目的に開催しています。

第11回になる今年は、2日間で4回実施し、親子89組、204名の参加がありました。

当日は「けんけつクイズ」や献血バス・献血運搬車の乗車体験をしていただき、参加した子供たちからは、「献血のことが良くわかった。」、「血液にはいろいろな種類があり、赤色だけではないことがわかった。」、「将来献血をしてみたい!」などうれしい感想をもらいました。

